

ものづくり人材育成ネットワークづくりに向けて

高校教育課 主任指導主事 横戸 隆

県教育委員会では、昨年7月、山形県産業教育審議会に「時代の進展や産業界の動向に対応した本県産業の在り方について」諮問を行いました。その中間まとめが今年1月に審議会から出されました。特に、専門高校においては、地域産業の担い手育成とともに、本県が持つ豊かな自然や歴史・文化、伝統技術など、地域の資源を活かし新たな価値を創造し、次代を拓く人材の育成が期待されているところです。

このような中、本県では今年度、文部科学省と経済産業省が連携し、地域産業の担い手育成を目的とした事業に採択されました。

本県ものづくり産業の次代を担う若手技術・技能者の確保と育成を重要施策にかかげている県商工労働観光部、事業委託先の山形県中小企業団体中央会と連携し、「ものづくり産業担い手育成モデル事業」として取り組んでいます。

本事業では、実践的な技術・技能を有した創造開発型ものづくり人材の育成を図るため、3つのテーマを柱に推進しています。その概念を下図に示します。1つが、専攻科や上級学校との連携・接続による教育課程の開発、長期インターンシップの実践と評価、科目「実習」に「企業実習」を取り入れたプログラムの開発など教育課程の研究・改善をめざした取組み、2つが、生徒の企業における実習や技術者の派遣、企業との共同研究・製品開発による実践的な技術・技能の習得をめざしたプログラムの開発、3つめが、教員の技術指導力の向上をめざした企業等における研修の実施であります。

今後は、これまで以上に、産学官が連携した人材育成を一層推進し、地域産業界から必要とされる学校づくり、人づくりに努めて参りたいと思います。さらに、これらの取組には、地元経済団体や企業、大学等からの理解と協力が不可欠であり、継続的・自立的な人材育成を図るためのネットワークづくりを取組みの中核に位置づけて推進し、地域起点で確立することが重要であります。

今後とも、活力ある本県工業教育の一層の充実と発展に向け、皆様とともに推進して参りたいと考えております。本部会の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

